



2013年5月16日(木)

# 小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員 小栗 悟

〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

Email: [info@otc-oguri.com](mailto:info@otc-oguri.com) <http://www.otc-oguri.com>

## 女性の賃金の伸び過去最高更新

### 女性の賃金は増えている

厚生労働省が発表した賃金構造基本統計調査によると 2012 年のフルタイムで働く女性の平均賃金は前年比 0.5%増の月額 23 万 3100 円と 2 年連続で過去最高を更新しています。賃金の伸び率では女性が男性を上回っており、女性の活用が進んでいると言えます。女性の賃金は 1989 年以降前年を下回ったのは 2 年だけで毎年の伸び率は男性を概ね上回っており、男性は昨年 0.2%増の 32 万円でありました。女性の賃金水準は 99 年には男性の 6 割程度でしたが昨年は 7 割を超えました。賃金額が伸びた業種は比較的女性が多いサービス業であり、昨年位から人手不足感が大きくなってきています。

### 妻の収入も過去最高に

また、総務省の 2012 年の家計調査では 2 人以上の世帯の平均実収入の月額が 51 万 8506 円と物価変動の影響を除いた実質賃金は前年比 1.6%増えています。世帯でも妻の社会進出が進んできている上に生活を支える為にパート等を始める人も増えています。世帯主の収入増加は 0.2%しかありませんでしたが妻の収入は 5 万 9177 円と 11%も増え過去最高となりました。背景に労働市場で女性の存在感が高まっている事があります。

### アベノミクスの一環 女性労働力活用

働く女性の数も 12 年は前年より 6 万人も増えて 2375 万人と過去最高です。特に医療や介護分野、サービス業は女性就業者が増えています。政府は女性の就労支援に力を入れています。少子高齢化による働き手の減少に歯止めをかける為、育児と仕事を両立出来ずに仕事をあきらめる女性を労働市場に呼び戻したいためです。女性就労者を増やすには保育所の整備等働きやすい環境を作る必要があります。日本では出産後に 6 割以上の女性が退職していて、20 代後半から 30 代の女性の労働力曲線は M 字型カーブを描いており、政府はこの間をつなぎとめる事が出来れば国内総生産を 1.5%押し上げるであろうと試算しています。さらに首相方針では 5 年間で保育所の待機児童をゼロにするとし、現在 1 年 6 カ月まで認めている育児休業を 3 年まで伸ばしてもらえよう経済界に要請しました。しかし、企業負担の問題や 3 年後の職場復帰時の難しさ等の多くの課題を検討しなければならないでしょう。



少子化対策等ではなく自社の為にどうしたら働きやすい職場になるかに目を向けて見るのがいいでしょう